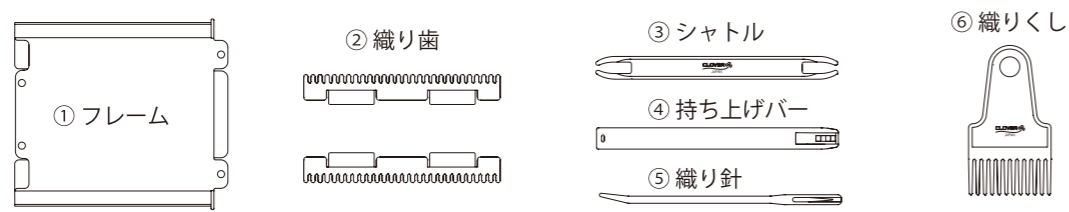


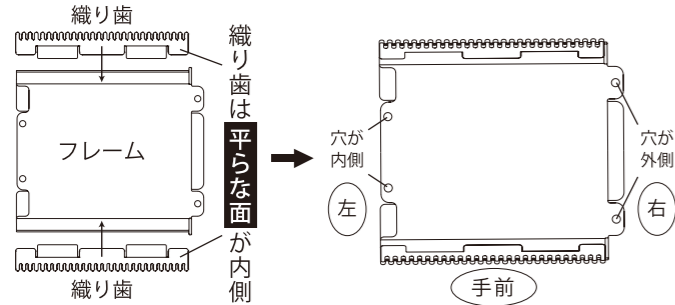
部品説明



- ① フレーム … 織り歯を上下端に取り付けて織り機として使用します。2台横につながれる構造になっています。
- ② 織り歯 … フレーム1台の上下端に各1個取りつけます。たて糸を通す溝が1個に27本ついています。たて糸密度= (20羽 : 10cm 内に20本のたて糸が入ります)
- ③ シャトル … よこ糸を巻き、織り機のたて糸の間に通して織ります。
- ④ 持ち上げバー … 織り機のたて糸を持ち上げて開口部を作り、シャトルを通します。2個横につながれる構造になっています。
- ⑤ 織り針 … シャトルが通らなくなった時によこ糸を通して織ったり、部分織り、糸を通す時、糸始末に使用します。
- ⑥ 織りくし … よこ糸を打ち込む時や整える時にたて糸に沿って使用します。

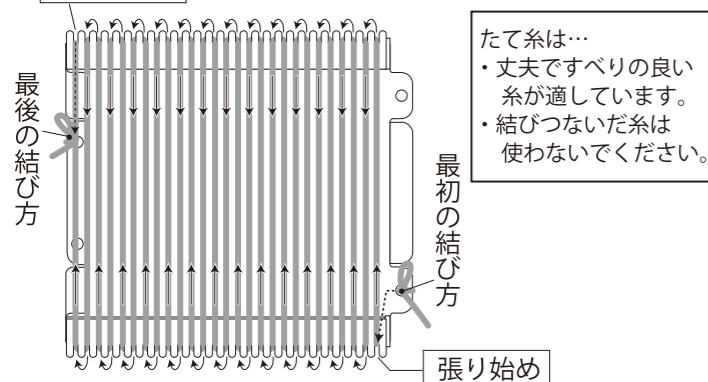
準備

1 フレームの上下に織り歯をセットして図のように置きます。

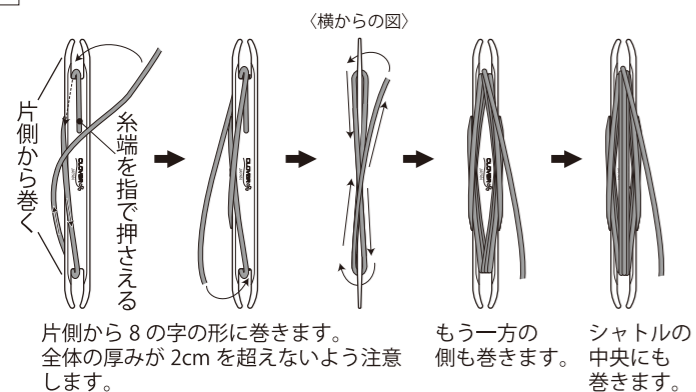


2 たて糸を張ります。織り機への結び方は裏面の「最初の結び方」「最後の結び方」を参照します。1台で27本のたて糸が張れます。最後の糸端は調整できるように余分(10cm程度)を取っておきます。たて糸の張り具合を手で押して、確認して調整します。

張り終わり (図は角型モチーフ20羽)

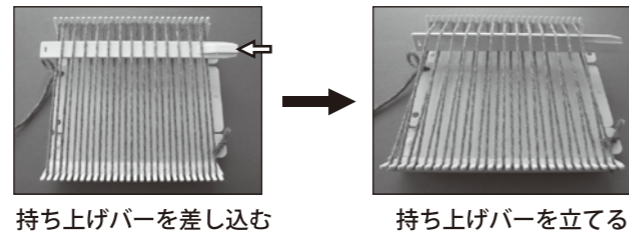


3 よこ糸をシャトルに巻きます。



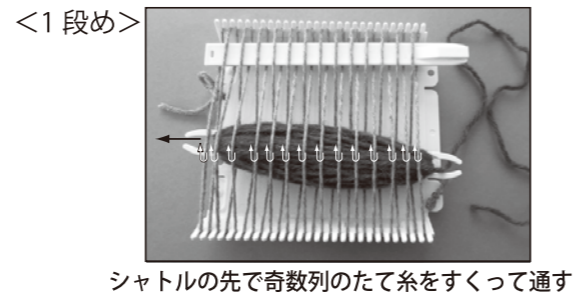
4 持ち上げバーを偶数列のたて糸に差し込みます。

持ち上げバーを立ててみて、バーが倒れてしまう場合は張り方がきついので糸端をほどきます。糸の張り加減を調整した後、糸端を結び直します。

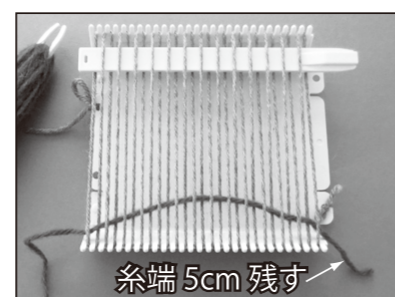


織ります 織り方の説明は「平織」の場合です

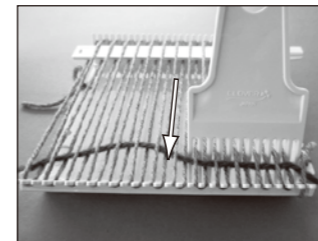
5 よこ糸は、織る前に「織り機の幅+15cm以上」多めにシャトルから出しておきます。持ち上げバーは倒しておきます。シャトルの先で右から奇数列のたて糸(持ち上げバーにかかっている糸)をすくいながら、シャトルを通します。



6 1段めの糸端は5cm程度残しておきます。よこ糸を入れたら、山形にゆるみを持たせます。

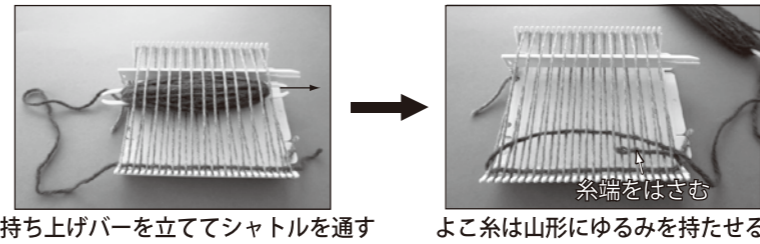


7 織りくしの先をたて糸に沿って入れて、よこ糸を手前に打ち込みます。〈1段めが織れました〉  
☆よこ糸にモヘアなどを使う場合は織る時に打ち込みすぎないように注意してふんわり織ります。

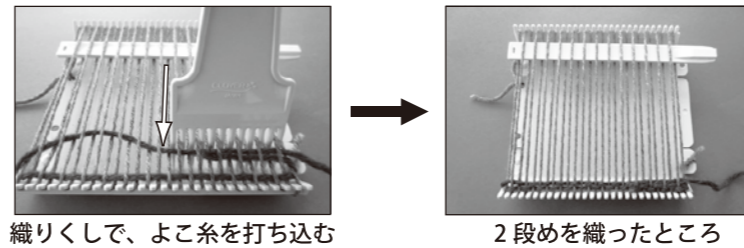


8 持ち上げバーを立てると、偶数列のたて糸が開きます。たて糸の間にシャトルを通します。よこ糸にゆるみを持たせます。

<2段め>

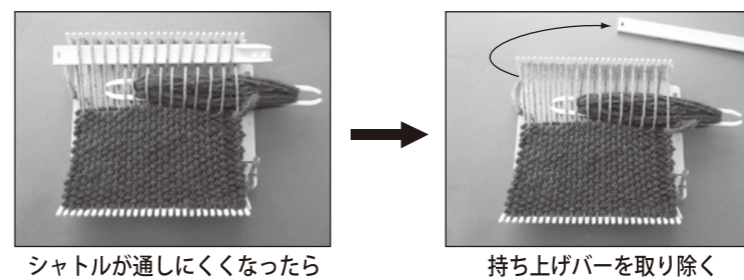


9 持ち上げバーを倒します。織りくしを使い、よこ糸を手前に打ち込みます。〈2段めが織れました〉

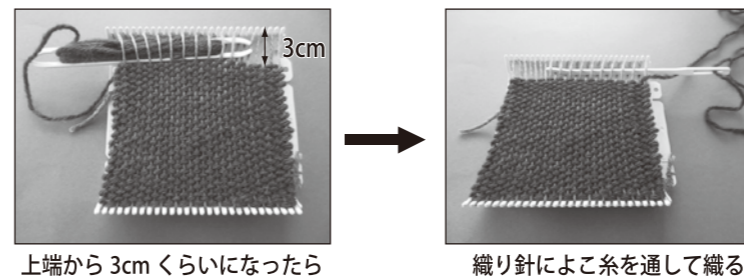


10 「シャトルの先で右から左にたて糸を交互にすくって通す」～「持ち上げバーでたて糸を開いてシャトルを左から右に通す」(5～8)を繰り返して織り進みます。  
☆途中でよこ糸を替える時は、糸端が新しい糸と3～4cm重なるようにするか、段の端で糸始末をして次の段から新しい糸で織り始めます。

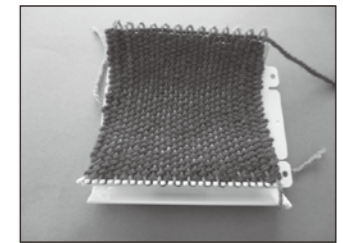
11 織り進んでシャトルが通しにくくなったら、持ち上げバーを取り除き、シャトルでたて糸をすくって織ります。



12 織り機の上端まで3cmくらいになったら、シャトルからよこ糸を外して織り針に通し、最後まで織ります。よこ糸の最後の糸端は5cm程度残してカットします。



13 フレームの左右の穴に結んだたて糸をほどいて織地を織り機から外します。織り歯と一緒に外すこともできます。



14 織りくしをたて糸に沿って織地に入れて均等に整えます。上下のループにもよこ糸が入るように織りくしで整えます。



最終段のよこ糸の始末

15 織り針に通し、織地の裏側から前の段のよこ糸に3～5cm重なるように差し込み、余分な糸をカットします。



※糸が短い場合は、織り針を先に差し込みます。針の頭に糸を通してから、織り針を引き抜きます。

たて糸の始末

16 織り針に通し、織地の裏側から隣の列のたて糸に3～5cm重なるように差し込み、余分な糸をカットします。

※すべりが良い糸を使用して他のモチーフとつなぐ場合は、重なる部分を10cm程度にします。



できあがり!

